

◆経済倶楽部講演会第4188回（1月20日）

# 欧州懐疑派の台頭に揺れる EUの2017年展望

慶應義塾大学法科大学院教授 庄司克宏

- \* 欧州懐疑派サイトに見る10大事件
- \* 欧州懐疑派とは何か
- \* 深刻な大量移民によるアイデンティティ問題
- \* 2種類ある欧州懐疑派
- \* オランダで欧州懐疑派は第一党になるか
- \* ルベン大統領はあるか
- \* メルケル首相の再選は可能か
- \* 経済指標からわかる事実
- \* 限界にきている欧州統合モデル
- \* EUの政策決定がマヒする可能性も



柴生田 それでは開会いたします。（拍手）

今日は慶応大学の庄司先生に来ていただきました。この会は2回目でございますが、1年半ぐらいあいたかと思えます。前回、ギリシャ問題その他南欧の問題を含めてEUの将来について語っていただいたわけですが、その後、またEUのたいへん大きな問題が次々に出てまいりました。特に、この2017年はEUの各国で選挙が相次ぎますし、片一方にトランプの登場がありますので、ちょっと記憶にないくらいEU問題が日本人の間でもホットな話題になっていると思います。今日は、そういうことで実際にEUの状況、それからどういふ変化が起きるのか起きないのか、EUの制度の問題も含めてお話をいただけると思います。

それでは庄司先生よろしくお願いたします。（拍手）

庄司 ただいまご紹介にあずかりました庄司でございます。本日はよろしくお願いたします。

今日は「欧州懐疑派の台頭に揺れるEUの2017年展望」というテーマでお話したいと思いますが、このテーマで今日話すことをお許しいただいた経済倶楽部はなかなか先見の明があるのかなと思えました。（笑）というのは、トランプ大統領の就任式がある日にヨーロッパの話で講演会を開かれるのは、なかなか大したものだなと感動した次第です。（笑）トランプに負けないように面白つぶやきをしたいと思います。おります。